

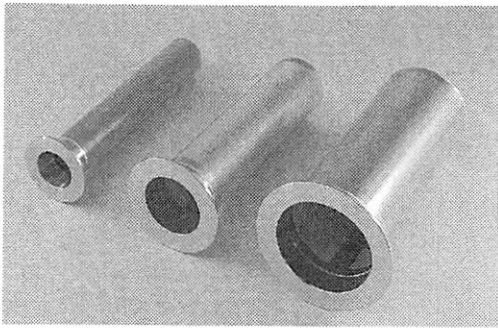


●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル
3階
電話 059(228)2545
FAX 059(271)6311

●四日市支局
四日市市中浜田町4の16
ロイヤルマンションHAMADA
208号
電話 059(354)6116
FAX 059(329)5333

継ぎ手用ろ過器発売

みつわポンプ製作所



発売した「みつわパイ差しストレーナー KLシリーズ」



小林三郎社長

ホースへ異物混入防ぐ 製薬メーカーなどに提案

ポンプメーカーのみつわポンプ製作所(本社三重県東員町山田新蔵原、小林三郎社長、電話0594・76・1100)は、ホースと配管をつなぐ継ぎ手に内蔵する「新型ろ過器」を開発した。ホースを付け替える際の異物の混入を、最小限に抑えることができる。製薬メーカーや化粧品メーカーなどに提案する。2017年に年間500個の販売をめざす。

(いなべ・山田駿太)

新型ろ過器は「みつわパイ差しストレーナーカムロック(KL)シリーズ」の製品名で発売した。KLシリーズは、ステンレス製のろ過器に直径70、750ミリの穴が等間隔で開けられている。金網タイプ

のろ過器に比べて耐久性が高い。表面はなめらかな仕上げに加工され、詰まりも発生しにくい。サイズは内径40ミ、50ミ、80ミの3種類。価格は9万4千円(税別)から。

みつわポンプは、14年に配管に取り付けるろ過器「みつわパイ差しストレーナー」を発売した。ホースの付け替えなどで配管と継ぎ手を切り離す際、ホース

「エイスシリーズ」。ミッシーとスノーピーの顔だに焦点をあてて、点と線

「チャーリーブラウン」の各4種類。

「スタンダード」「スリー アイテムは両キャラクター

あいさつする坂井会頭

生に取組む。常に會員ファース

あいさつする高田会長

交流・親睦を図ることも、地元行政機関から関係者との情報交換、連携強

中部経済新聞掲載 2017.2.1付 (三重版 7面)



調印式に出席したNTN桑名製作所の上田所長(左)と桑名市の伊藤市長

側面異物が混入するリスクがあった。そこで、ホースの先端部に取り付ける継ぎ手に内蔵する、新型ろ過器の開発に踏み切った。

小林社長は「異物混入のリスクを回避できるメリットをアピールしていく」と話している。

みつわポンプ製作所は1954年創業。工場内で排水や原料などを移送するた

めのスラリーポンプを製造し、自動車部品メーカーや電子部品メーカーなどに納入している。16年9月期売上高は3億1千万円。社員数は20人。

組みが評価され、今回の市民会館の命名権取得が認められた。

桑名市役所で開催された調印式で、NTN桑名製作所の上田智所長は「文化や芸術の拠点である桑名市民会館に当社の愛称が付くことになり、誇りに思う。NTN総合運動公園と一体で、スポーツや文化の面で桑名市を盛り上げていきたい」と話した。

NTNメーカーで、現在も桑名製作所で産業機械など向けの軸受けを生産している。

2015年から桑名市総合運動公園(NTN総合運動公園)の命名権を持つ実績に加え、18年3月の創業100周年に合わせて、市民参加型の記念行事を計画するなど地域貢献への取

伊藤徳宇市長は「今後は官民連携を加速させ、地元企業と一体で街づくりを推進したい。NTN創業100周年の記念イベントをすばらしいものにした」とあいさつした。

命名権の契約期間は、17年4月1日から22年3月31日まで。契約金額は年間50万円(総額250万円)。

桑名市で創業した軸受けメ